

# やる気発生装置

中学(1,2年)			高校(1,2年)				高校入試
修学院	高野	近衛	堀川	紫野	鴨沂	北稜	公立中期
2/17~	2/19~	2/19~	2/25~	2/27~	3/3~	3/4~	3/7
学年末テスト	学年末テスト	学年末テスト	学年末考査	学年末考査	学年末考査	学年末考査	
2日目	あと1日	あと1日	あと7日	あと9日	あと13日	あと14日	あと17日

## 問題演習をバランスよく進めるために

また大型寒波がやってくるという予報が出ていて、昨夜遅くには雪がちらつき始めていました。今朝起きる時には大雪が積もっているんじゃないかと、恐る恐る窓の外を見てみたんですが、屋根にうっすら雪がついているくらいで、幸い雪かきがいるような事態にはなっていません。朝学習も、予定通り行うことができました。冬の寒さや雪と向き合うことも日本に生きる味わいの一つではありますが、あまり生活に支障が出ないことを願いつつ、十分気を付けて過ごしたいところです。

受験も、学年末テスト対策も、佳境に入っています。限られた時間のなかで、点数をあとひと伸びさせるために何をやるか。やはり、過去問を中心とした演習に勝るものはないと思います。その本質はアウトプット（できるかどうか確認する）であり、そのためにインプット（できないものをできるようにするために材料を頭に入れる）があります。過去問をやり込んでいる人は確かに伸びるんですが、特に成果が上がるのは、このインプットとアウトプットが噛み合っているときです。具体的に言うと、時間を測ったり解答を記録したりして、本番に近い状態でしっかり問題に向き合って解いていること…これが、充実したアウトプットです。そして、解き終わったら採点するだけでなく、間違えた問題を再検討して、分からない点があれば調べたり質問したりして、次には解けるように整理すること…これが問題演習にもとづくインプットです。その2つができているか、どちらかに偏ってないかを考えて修正することで、直前期の学習効率は大きく変わっていきます。と、言うのは簡単ですが、実際なかなかうまくはいきません。僕自身、もちろんかつては受験勉強していましたが、問題を解きっぱなしになっていたことが多いです。塾に来て勉強することのメリットは、人の目があることで無意識のうちにそうした偏りを調整できることだと思えます。教室に入り浸って受験勉強を続けていた人達が、まさにいま成果を出しつつあります。



寒い朝でしたが、道が雪で埋まることはありませんでした。公園の土に薄い雪が積もっています。

### 当面の教室予定

**2/17(月)~2/21(金)**

★早朝学習会あります★

7:00~8:10

16:00~22:00

**2/22(土)**

16:00~22:00

**2/23(日・祝)**

10:00~12:00

16:00~21:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。

明日2/19(水)のテスト

学校/学年	教科	
修学院	2	理科/数学/保体
高野	1	国語/数学/英語
近衛	1	保体/国語/社会
近衛	2	音楽/社会/国語